

社会学研究科教育学専攻修士課程 3つのポリシー

項目	卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
教育目標	慶應義塾大学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を前提として、教育学研究に関する基礎的な研究能力および専門性が求められる職業を担うために必要な能力を養い、研究者、教育者及び専門性を備えた職業人を育成することを目標とします。加えて、教育課程において定める所定の要件を満たした学生に対し、修士（教育学）の学位を授与します。
資質・能力目標	<p>資質・能力目標（１）：教育学に関する高度な専門的知識の獲得</p> <p>資質・能力目標（２）：教育学に関する理論的、実証的研究の実施を可能とする専門的技法の獲得</p> <p>資質・能力目標（３）：学際的に周辺領域へと接続可能な教育学に関する幅広い知識の運用能力の獲得</p> <p>資質・能力目標（４）：将来にわたって社会的、国際的に活躍できる資質の獲得</p>

項目	教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）
教育課程の編成	社会学研究科教育学専攻（修士課程）は、「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」に掲げる資質・能力を養成するために、教育哲学、教育史、教育心理学、比較教育学、学校教育学の5分野から成る演習、講義科目、実習から構成される教育課程を体系的に編成します。また、領域横断的に現代の教育問題を検討する視野を養うために、各分野のディシプリンに基づく「現代教育問題研究」が設置します。さらに国際的・学際的な最新の研究動向にアクセスする機会を確保するため、国内外の著名な特別招聘教授による講義科目も設置します。
教育課程の実施	この教育課程の編成のもと、履修者のプレゼンテーションとそれに基づくディスカッション、反転学習、実習、学校・授業見学などの教育法を組み合わせ教育を実施します。また、現職教員の学生で、勤務先の事情等で時間の制約等がある学生に対しては、大学院設置基準第14条に定める特例を適用することで、夜間その他特定の時間または時期において授業や研究指導を行う等、柔軟な教育課程の実施により学習機会を確保します。
学修成果の評価方法	本専攻の教育課程により習得すべき資質・能力目標に対する学修成果の評価は、全塾としてのアセスメントプランの考え方のもと、各科目において定める成績評価基準等に基づいた直接的な指標により行われるほか、各種アンケートや調査、履修者の相互評価等を含めた定量的・定性的、直接的・間接的な指標を用いて評価されます。
資質・能力目標と教育内容との関係	<p>資質・能力目標（１）：教育学に関する高度な専門的知識の獲得</p> <p>講義科目では教育学各分野における研究動向、知識、方法論に関する高度な専門的知識の獲得を目指します。</p> <p>資質・能力目標（２）：教育学に関する理論的、実証的研究の実施を可能とす</p>

	<p>る専門的技法の獲得</p> <p>演習科目では研究遂行に不可欠な文献やデータの収集、分析の方法を理解し、研究計画の立案、実施、分析を経て研究発表及び学術論文の完成に必要な専門的技法の獲得を目指します。</p> <p>資質・能力目標（3）：学際的に周辺領域へと接続可能な教育学に関する幅広い知識の運用能力の獲得</p> <p>各分野に設置された「現代教育問題研究」において各自の研究成果、知見を活用して領域横断的に現代の教育課題について検討、アプローチする幅広い知識の運用能力の獲得を目指します。</p> <p>資質・能力目標（4）：将来にわたって社会的、国際的に活躍できる資質の獲得</p> <p>各分野における最先端の研究にアクセスする機会を確保するため、国内外の著名な特別招聘教授を招いた講義科目を設置し、最新の研究成果発表やディスカッションを通じて社会的、国際的に活躍できる資質・能力の獲得を目指します。</p>
--	--

項目	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
求める学生像	<p>（1）基礎的専門学力を有する学生</p> <p>（2）明確な問題意識を有する学生</p> <p>（3）学術研究を遂行するに適した日本語及び外国語運用能力を有する学生</p> <p>（4）専門的職業人としてのリカレント教育、研究活動に意欲のある学生（現職教員）</p> <p>（5）学術研究の成果を研究者及び高度な専門性が求められる職業を通じて広く社会に還元しようとする意欲のある学生</p>
選抜の基本方針	<p>このような入学者を幅広く受け入れるため、（1）一般入試（2）現職教員枠入試により選抜を実施します。</p> <p>（1）一般入試</p> <p>学際的な特色を有する独立大学院に属する教育学専攻において研究活動を遂行するにふさわしい語学力（英語）及び教育学に関する基礎的な知識を判断する（教育学）ための筆記試験を一次試験として実施します。修士課程における研究に関する問題意識、研究計画、研究遂行能力について確認するための口述試験を二次試験として実施します。</p> <p>（2）現職教員枠入試</p> <p>学際的な特色を有する独立大学院に属する教育学専攻において研究活動を遂行するにふさわしい教育学に関する基礎的な知識及び現職教員としての実践を教育学的に位置づける力を判断するための筆記試験を一次試験として実施します。修士課程における研究に関する問題意識、研究計画、研究遂行能力について確認するための口述試験を二次試験として実施します。</p>